

「忍野八海ふれあい大学(総合的な学習の時間)」

3年 耳の不自由な人について考えよう

～福祉講話・手話体験会～

耳の不自由な方についての学習や体験を通して、

理解を深めたり、今の自分にできることを考えたりする学習

1 目的と経緯

本校では3学年から6学年までの4カ年の総合的な学習の時間を、「忍野八海ふれあい大学」と名付け、地域に根ざした様々な学習活動を行っている。3年生では福祉をテーマに、地域の耳の不自由な方や手話サークルの方とのふれあいを通して、自らの生活を見つめ直し、自分にできることを考える取り組みをしている。

2 内容

①【福祉講話】

聴覚障害者の関根ふじゑさんをお招きして、福祉講話会を開いた。耳の不自由な方の生活や日頃感じていること、児童に伝えたいことなどについてお話しただくとともに、簡単な手話講座や質問の時間を取った。



②【手話体験会】

手話サークル「ふじざくら」のみなさんをお招きし、基礎的な手話の学習と演習を含んだ学習活動を行った。

③【学びを深める活動】

①②の学習を通して学んだこと、興味を持って図書などで調べたこと、これからの生き方に生かしたいことなどを、教科横断的に捉え、報告書という形式のレポートにまとめて交流し、互いの学びを深める学習を行った。

3 成果と課題



・児童は講師の話に真剣に耳を傾け、「初めて知ったこと」「感じたこと」「もっと知りたいと思ったこと」などについて丁寧にまとめ、福祉への意識を高めることができた。

・普段、耳の不自由な方をふれあうことがないため、児童にとってとても印象に残る講話となった。自分にできることについて考えを持つことができた。

・継続して同じ講師に来ていただいているので、異学年児童が共通の体験をもとに対話的な学習をすることが可能である。交流学习の方法も探っていきたい。